

小6V 社会 確認テスト 鎌倉幕府と元との戦い(鎌倉時代)

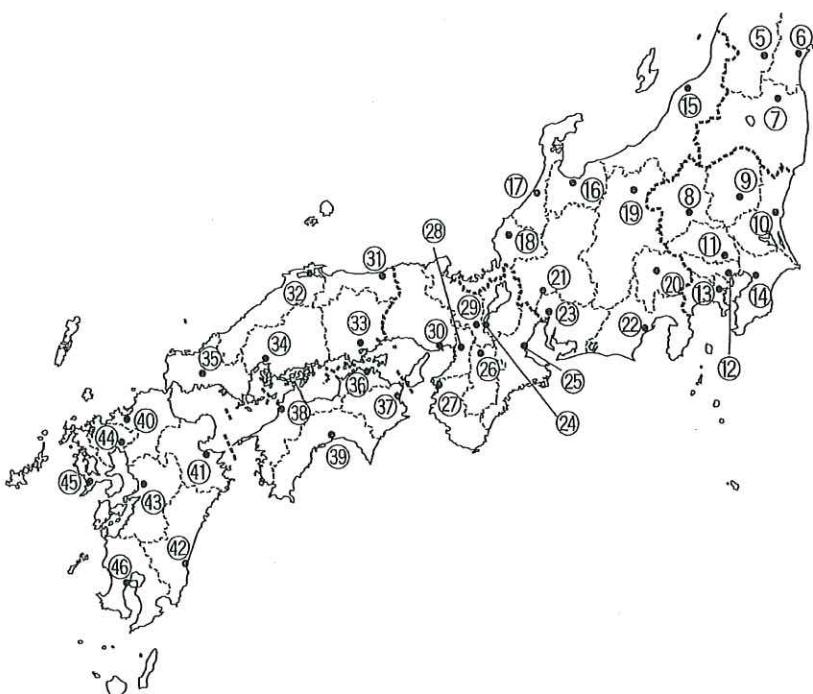
氏名 _____

／ 28

- 問1 武士として初めて太政大臣になった人物はだれか。書きなさい。 ()
- 問2 塙ノ浦（山口県）で源氏の軍を率いて平氏をほろぼしたのはだれか、漢字で書きなさい。 ()
- 問3 鎌倉幕府を開いたのはだれか、漢字で答えなさい。 ()
- 問4 問3の人物が1192年に朝廷から任じられた役職の正式名称を書きなさい。 ()
- 問5 鎌倉幕府のおかれた場所は現在のどの都道府県か、書きなさい。 ()
- 問6 源氏が3代で絶えた後、北条氏は何という役職について政治を行ったか、書きなさい。 ()
- 問7 後鳥羽上皇が幕府をたおす命令を全国に出した際、鎌倉の武士たちに幕府を守るよう説得した問3の人物の妻の名前を書きなさい。 ()
- 問8 1232年に北条泰時によって定められた、政治や裁判についての法律を何というか。 ()
- 問9 元の大軍が2度にわたり日本に攻めてきたできごとを何といいうか、書きなさい。 ()
- 問10 問9のできごとのときの問6の役職の人物は誰か、漢字で書きなさい。 ()
- 問11 問9のできごとのとき、元軍は日本のどこに攻めてきたか、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 鹿児島 イ 新潟 ウ 北九州 エ 広島 ()
- 問12 問9のできごとのときの元軍の戦い方の特徴を1つ書きなさい。(2点)
()
- 問13 問9のできごとのあと、幕府と御家人の「ご恩と奉公」の関係がくずれていった理由を「領地」「不満」ということばを使って説明しなさい。(2点)
()

- 問14 関東地方の都道府県名と県庁所在地を答えなさい。

都道府県名	都道府県庁所在地
8 ()	県 () 市 ()
9 ()	県 () 市 ()
10 ()	県 () 市 ()
11 ()	県 () 市 ()
12 ()	都 () 新宿区
13 ()	県 () 市 ()
14 ()	県 () 市 ()



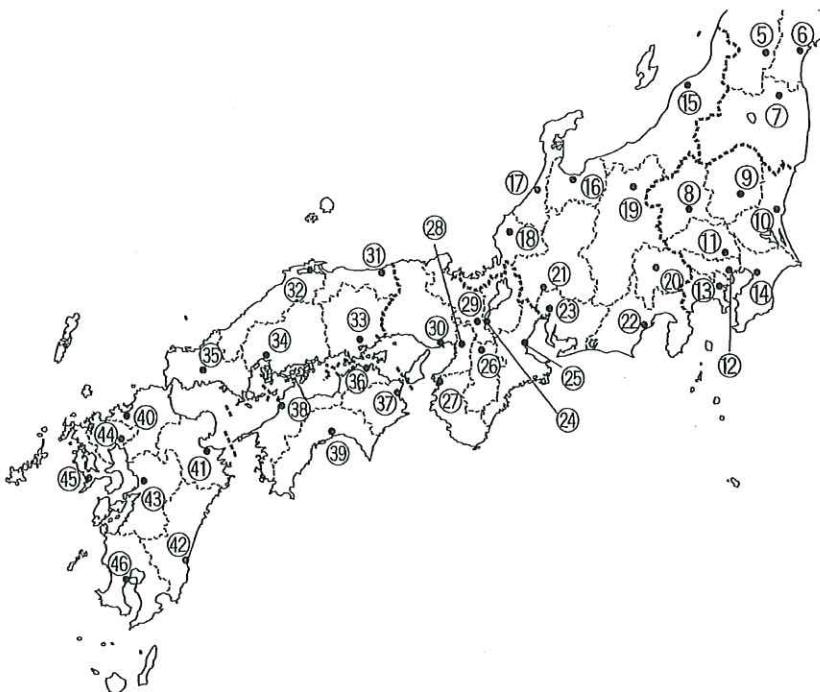
小6V 社会 確認テスト 鎌倉幕府と元との戦い(鎌倉時代)

氏名 _____

/ 28

- 問1 武士として初めて太政大臣になった人物はだれか。書きなさい。 (平清盛)
- 問2 塙ノ浦（山口県）で源氏の軍を率いて平氏をほろぼしたのはだれか、漢字で書きなさい。 (源義経)
- 問3 鎌倉幕府を開いたのはだれか、漢字で答えなさい。 (源頼朝)
- 問4 問3の人物が1192年に朝廷から任じられた役職の正式名称を書きなさい。 (征夷大將軍)
- 問5 鎌倉幕府のおかれた場所は現在のどの都道府県か、書きなさい。 (神奈川県)
- 問6 源氏が3代で絶えた後、北条氏は何という役職について政治を行ったか、書きなさい。 (執權)
- 問7 後鳥羽上皇が幕府をたおす命令を全国に出した際、鎌倉の武士たちに幕府を守るよう説得した問3の人物の妻の名前を書きなさい。 (北条政子)
- 問8 1232年に北条泰時によって定められた、政治や裁判についての法律を何というか。 (御成敗式目)
- 問9 元の大軍が2度にわたり日本に攻めてきたできごとを何といふか、書きなさい。 (元寇)
- 問10 問9のできごとのときの問6の役職の人物は誰か、漢字で書きなさい。 (北条時宗)
- 問11 問9のできごとのとき、元軍は日本のどこに攻めてきたか、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 鹿児島 イ 新潟 ウ 北九州 エ 広島 (ウ)
- 問12 問9のできごとのときの元軍の戦い方の特徴を1つ書きなさい。(2点)
(例：集団戦法 火薬を使った武器（てつはう）の使用 毒矢の使用 などから1つ)
- 問13 問9のできごとのあと、幕府と御家人の「ご恩と奉公」の関係がくずれていった理由を「領地」「不満」ということばを使って説明しなさい。(2点)
(例：御家人たちは一生懸命戦ったのに、新しい領地をもらうことができず幕府に不満を持ったから)
- 問14 関東地方の都道府県名と県庁所在地を答えなさい。

都道府県名	都道府県庁所在地
8(群馬 県)(前橋 市)	
9(栃木 県)(宇都宮 市)	
10(茨城 県)(水戸 市)	
11(埼玉 県)(さいたま 市)	
12(東京 都)(新宿区)	
13(神奈川 県)(横浜 市)	
14(千葉 県)(千葉 市)	



3 室町幕府と民衆の文化

1 金閣と銀閣がつくられる

) の政治

(室町時代)

- ・元寇のあと、鎌倉幕府は領地を与えるが御家人の不満が高まる。
- ↓生活に困る御家人たちが出てくる

●鎌倉幕府の滅亡

- ※ 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府
- (室町時代)
- ・京都の室町の屋敷に幕府を移す。(花の御所)
- ・南朝と北朝を一つにまとめる。(1392年)
- ・京都の北山に(3)を建てる。

◇中国との関係

- ・中国の(4)との間で勘合貿易を行う。→このとき勘合符を使う。)

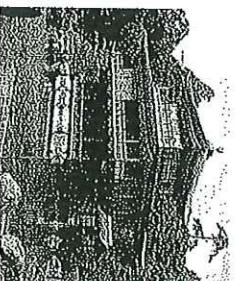
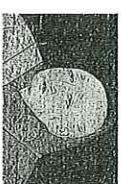
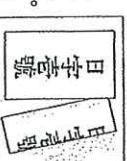
理由(5)

- 天皇による政治
 - ・1334年、後醍醐天皇が天皇中心の政治を行う…建武の新政※わずか2年で失敗!
 - ⇒足利尊氏は、後醍醐天皇を都から追放。
 - 別の天皇を立て、征夷大将軍となり、
 - 京都に幕府を開く。(1338年)



コラム：倭寇とは…？

倭寇とは、簡単に言うと「室町時代に中国沿岸部を襲った海賊」のことです。「日本」を表す「倭」が付くのは、はじめ多くの日本人が倭寇に参加しているからとされています。勘合貿易は、「倭寇を日本が退治すること」を条件に開始されました。「勘合符」と呼ばれる割符を使うのは、倭寇の中には密貿易(正式な貿易ではない)を行う者もあり、幕府の貿易船と見分けが必要があったからです。



1 金閣と銀閣がつくられる

) の政治

(室町時代)

- ・元寇のあと、鎌倉幕府は領地を与えるが御家人の不満が高まる。
- ↓生活に困る御家人たちが出てくる

●鎌倉幕府の滅亡

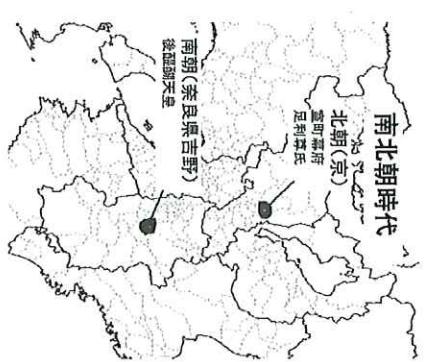
- ※ 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府
- (室町時代)
- ・京都の室町の屋敷に幕府を移す。(花の御所)
- ・南朝と北朝を一つにまとめる。(1392年)
- ・京都の北山に(3)を建てる。

◇中国との関係

- ・中国の(4)との間で勘合貿易を行う。→このとき勘合符を使う。)

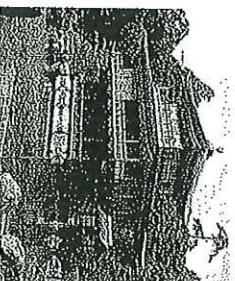
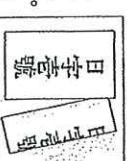
理由(5)

- 天皇による政治
 - ・1334年、後醍醐天皇が天皇中心の政治を行う…建武の新政※わずか2年で失敗!
 - ⇒足利尊氏は、後醍醐天皇を都から追放。
 - 別の天皇を立て、征夷大将軍となり、
 - 京都に幕府を開く。(1338年)



コラム：倭寇とは…？

倭寇とは、簡単に言うと「室町時代に中国沿岸部を襲った海賊」のことです。「日本」を表す「倭」が付くのは、はじめ多くの日本人が倭寇に参加しているからとされています。勘合貿易は、「倭寇を日本が退治すること」を条件に開始されました。「勘合符」と呼ばれる割符を使うのは、倭寇の中には密貿易(正式な貿易ではない)を行う者もあり、幕府の貿易船と見分け必要があったからです。



- 南北朝の対立
 - 後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れて新たに朝廷を開く。(南朝)
 - 吉野の朝廷(南朝) VS 京都の朝廷(北朝)

●南北朝の対立

後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れて新たに朝廷を開く。(南朝)
吉野の朝廷(南朝) VS 京都の朝廷(北朝)

(6)) の政治

- 京都の東山に(7)) を建てる。隣の東求堂にはとうぐどう
- の部屋があり、現在の和室のもとにになった。

(8) 特徴

(9) 将軍



- 南北朝の対立
 - 後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れて新たに朝廷を開く。(南朝)
 - 吉野の朝廷(南朝) VS 京都の朝廷(北朝)

●南北朝の対立

後醍醐天皇は吉野(奈良県)に逃れて新たに朝廷を開く。(南朝)
吉野の朝廷(南朝) VS 京都の朝廷(北朝)

(6)) の政治

京都の東山に(7)) を建てる。隣の東求堂にはとうぐどう

の部屋があり、現在の和室のもとにになった。

(8) 特徴

(9) 将軍



(10)

が起ころる(1467年)「浦島太郎」「一寸法師」「ものぐさ太郎」などの昔話

(11)

守護大名たちの争いに将軍家のあとぎ争いがからみ、大きな戦乱となる。

(12)

京都を中心に戦乱は11年間続いた。

(13)

京都は焼け野原になり、多くの文化人は戦いを避けて地方の都市へのがれる。

(14)

→京都の文化が地方に広まる。

例(11)

)

現在の栃木県に置かれた学問所で、荒れ果てた

京都に代わり、全国から学生が集まつた。

・戦乱の後

將軍の力は完全におとろえ、幕府は都のあつた

山城国(京都府)一国を支配

・戦乱の後

各地の大名が互いに争う(12)

) の始まり

→各地の大名が互いに争う(12)の始まり
実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮が広まり、戦国大名となつていった。

2 現代につながる文化が発える

(13)

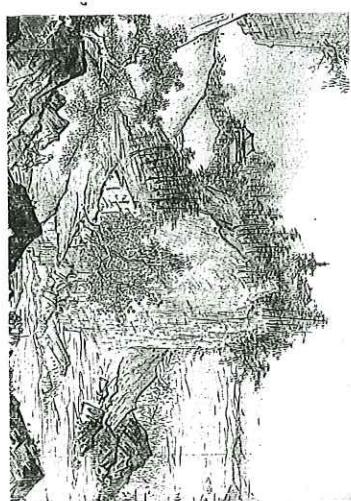
) (すみ絵)

鎌倉時代に中国から伝えられた。

(14)

) が大成させる。

すみのこい、うすいをぬりわけて描かれ、
大自然の雄大さが描かれた。



(15)

)

足利義満の保護を受けた、観阿弥・世阿弥の父子によつて完成された。



(16)

)

民衆の生活などを題材にした笑劇。

(17)

) =国連教育科学文化機関により定められている。

(18)

「浦島太郎」「一寸法師」「ものぐさ太郎」などの昔話

(19)

) (茶道), (20) (華道) の流行

)

3 産業が発達する

●農村では二毛作が各地に広まり、水車も使われて生産がのびた。
米の裏作に麦をつくるなど

●農具や織物などをつくる職人が生まれ、定期的に市が開かれた。

●農民は寄合を開いて、村のおきてを定めたり、山野や用水の利用などを話し合つたりした。

●農民による一揆

団結した農民は領主に年貢を減らすよう要求し、高利貸をおそつたりした。
⇒ 正長の土一揆、山城の国一揆、加賀の一向一揆など

●京都はもちろん、堺(大阪)・博多(福岡)などの港町が商業・貿易都市として発達し、大名なみの力をを持つようになつた。

※現代もつづく祇園祭(京都)のようす ⇒

●人々のくらしの変化

・1日3回食事をする習慣が起つた。
・うどん、とうふ、こんにゃく、納豆などが人々の間に広まつた。

(21) (22)

など現在の和食に欠かせない調味料が使わればじめた。

